

令和5年12月18日  
(2023年)

保護者の皆様

吹田市立山田中学校  
校長 小早川 靖樹

#### 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本年度、4月に3年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、今年度は、国語・数学・英語の3教科で実施されました。調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善を図ってまいります。

各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の参考にしていただきますようお願い申し上げます。

## 1. 教科に関する調査結果の分析

### 【 国 語 】

#### 《概要》

ほとんどの領域で、平均正答率が全国値を上回っている。記述式の解答も、無解答率が低く、なんとか書こうとする意欲が感じられる。ただ、全国値を上回っているものの、正答率の低い問いがあった。書くことを頻繁に行うことにより書くことに抵抗感はなくなってきているが、今後さらなる向上を図る必要がある。

#### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・全国値を上回っている。特に、「表現の技法について理解する」ことは、全国値と比べ正答率が高い。

##### 情報の扱い方に関する事項

- ・意見と根拠など、情報と情報との関係についての理解に課題がある。「インターネットの記事」に示されている考えの読み取りについて、誤ってとらえられていたと考える。丁寧に読み取る必要がある。

##### 我が国の言語文化に関する事項

- ・全国値を上回っている。古典の無解答率も低く、古典の原文と現代語を対応させて読む力がついている。

##### 話すこと・聞くこと

- ・全国値を上回っている。特に、「聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する」ことは、全国値と比べ正答率が高い。

##### 書くこと

- ・全国値を上回っている。無解答率が低く、意欲的に書くことに取り組む姿勢が見られる。

##### 読むこと

- ・全国値を上回っている。特に、「叙述を基に、文章の中心部分をとらえ、要旨を把握する」ことは、全国値と比べ正答率が高い。

#### 《国語科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、生徒の日常の学習成果と努力を確認することができる。普段から落ち着いており、整った学習環境であることが大きな要因だと考える。「主体的・対話的な学び」を取り入れ、今後も「話し合い活動」や「自分の考えを、発表できる取り組み」を継続して進めていくことを大切にする。学習の基本として、しっかりと聞く、もっと自分自身で考える時間を持つ、考えを互いに認め合う、短文形式であっても記述をする機会を多くするなど、生徒の力となるよう努めていきたい。

一方で、平均正答率を下回った、文章の内容をとらえ、共通点や相違点をふまえて「自分の考えをまとめることに慣れていくこと」は課題である。「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く」ことは、より頻度をふやし、定着に努めていきたい。

## 【 数 学 】

### 《概要》

「数と式」「図形」「関数」の領域で、平均正答率が全国値を上回っており、「データの活用」の領域は全国値と変わらない。また、評価の観点については、「知識・技能」「思考・判断・表現」とも全国値を上回っている。

### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

#### 数と式

・全国値を上回っている。特に、「自然数の意味を理解している」ことは、全国値と比べ正答率が高い。また、「数と整式の乗法の計算ができる」「問題場面における考察の対象を明確にとらえることができる」の正答率が高い。

#### 図形

・全国値を上回っている。特に、「空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している」ことは、全国値と比べ正答率が高い。

#### 関数

・全国値を上回っている。特に「反比例の意味を理解している」ことは、全国値と比べ正答率が高い。

#### データの活用

・全国値とほぼ変わらない結果であった。「四分位範囲の意味を理解している」ことは、全国値と比べ正答率が高い。一方、「累積度数の意味を理解している」ことについては、全国値を下回っており、課題である。

### 《数学科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、習熟度別指導を含む、少人数指導等の成果がみられ、正答率から学習の成果が現れている。しかし、「データの活用」について、やや課題がある。「累積度数の意味を理解している」ことについては、全国値を下回っており、多くの生徒がつまずきやすい部分であることがわかる。また、全体的に正答率は全国値を上回っているが、無解答率が全国値を上回っている問題もあったことが課題である。記述式については、正答率が半数をこえていない問題があったことが課題である。今後も少人数指導の特性をいかしつつ、授業の中で、課題に対し自らの考えを言語化する等の場面設定の機会を増やしていく必要がある。

## 【 英語 】

### 《概要》

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の全ての領域で、平均正答率が全国値を上回っている。ただ、「読むこと」「話すこと」について、一部無解答率が全国平均を上回る問題が見られた。

### 《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

#### 聞くこと

- ・全国値を上回っている。特に、「状況を描写する英語を聞き、その内容を適切に表している絵を選択する」ことについて正答率が高い。

#### 書くこと

- ・全国値を上回っている。特に、「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる」「メールの英文を依頼する表現に書き換える」ことは、全国値と比べて正答率が高い。

#### 読むこと

- ・全国値を上回っている。特に、「事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する」ことは、全国値と比べて正答率が高い。

#### 話すこと

- ・「日付に関する基本的な表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用する」「未来表現を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用する」「日常的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を述べ合う」「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す」ことは、全国値を上回っている。一方、「疑問文の特徴を理解するとともに、その知識をやり取りの場面において活用する」ことは、全国値を下回っており、課題である。

### 《英語科における成果と今後の改善点について》

今回の調査結果から、生徒の日常の学習成果と努力を確認することができる。多くの問題において、全国平均を上回っており、教科ならびに学習に対する意識の高さが表れている。一方で「話すこと」に関して全国平均値を下回っているものも見られた。そのため、普段の授業において、さらに積極的に「話すこと」に関する学習内容を取り入れていく必要がある。ペアワークやグループワークなどを引き続き行い、さらに力が伸びていくような授業を行っていきたい。

## 2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【 視点1 】 規則正しい生活と計画的な家庭学習について

#### < 調査結果 >

- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか(起きていますか)」については、全国値を上回っている。
- ・「朝食を毎日食べていますか」については、全国値を上回っている。
- ・「家では自分で計画を立てて勉強していますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学校の授業以外に、平日1時間以上、休日2時間以上勉強している」については、全国値を上回っている。

### 【 視点2 】 学習方法の工夫と学習に対する姿勢について

#### < 調査結果 >

- ・「1・2年生のときに受けた授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動」については、全国値を上回っている。
- ・「1・2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」ことについては、全国値を上回っている。
- ・「1・2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」ことについては、全国値を上回っている。
- ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」については、全国値を上回っている。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか」については、全国値を上回っている。
- ・「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか」については、全国値を上回っている。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」については、全国値を上回っている。

### 【 視点3 】 自分自身のことについて

#### < 調査結果 >

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」については、全国値を上回っている。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」については、全国値を下回っている。
- ・「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどのくらいありますか」について、「よくある」「ときどきある」の回答は、全国値とほぼ変わらない。

### 【 視点4 】 他者との関わりについて

#### < 調査結果 >

- ・「人が困っているときは、進んで助けている」ことについては、全国値とほぼ変わらない。
- ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」ことについては、全国値を上回っている。
- ・「学級生活をよりよくするために学級全体で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか」については、全国値を上回っている。
- ・「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか」については、全国値とほぼ変わらない。
- ・「友達関係に満足していますか」については、全国値を上回っている。

山田中学校の本年度の学校経営方針は、以下のとおりです。

めざす学校像の実現に向け、すべての教育活動において、生徒たちに付けたい力を明確にして取り組みを進め、「安心して過ごせる学校」づくりをめざす。

- 1 学び合い育ち合う同僚性の構築
- 2 生徒に寄り添った教育活動の展開
- 3 思考力、判断力、表現力を伸ばす授業の充実
- 4 とともに助け合い、協力してやりぬく集団の育成
- 5 基本的な生活習慣を確立し、自主的に動く自立した生徒の育成
- 6 保護者・地域からの信頼される学校づくり

今年度の生徒質問紙では、多くの質問で全国値を上回る結果となりました。

【視点1】より、規則正しい生活を過ごし、自分で計画を立ててしっかりと家庭学習に取り組むことができている。昨年度と同様、家庭での落ち着いた生活が、落ち着いた学校生活にもつながっていると考えられます。

【視点2】より、本校では授業において「学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動」を保障することで、生徒に「うまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表する」「課題解決に向けて自ら考え、自ら取り組む」といった意欲・態度がはぐくまれています。また、「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という実感を持つことができたり、「自分と違う意見について考えることは楽しいと感じる」ことができている。その良い経験により、さらに「分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」「学んだことをほかの学習でも生かす」といった姿勢へとつながっていると考えられます。

今後も生徒自ら考え、考えたことを整理するとともに、他者との共有・交流を通じてさらに学びを深めていく授業づくりに取り組んでまいります。

【視点3】【視点4】より、「話し合いの中で互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」「友人関係に満足している」について全国と比較して高く、他者との関わりについて良好な関係を築くことができている。このことから、「自分にはよいところがあると思う」「人の役に立つ人間になりたい」という思いへとつながっていると考えられます。

一方、「将来の夢や目標を持っている」については、全国と比較して低くなっています。今後、キャリア教育・進路指導を充実させ、自己を見つめ「どのように生きていきたいか」と自身の将来を考えることを通じて、一人ひとりに夢や目標をしっかりと抱くことのできるよう取り組んでまいります。